

千葉県護国神社 令和4年度秋季大祭奉仕活動

千葉県護国神社は、戊辰の役から大東亜戦争に至るまで、国事国難に殉ぜられた千葉県出身並びに縁故ある方々の英霊を奉斎しており、現在の合祇祭神は5万7千余柱であります。

令和4年2月26日、千葉県護国神社は本殿等主要建造物の老朽化に伴い、新境内地に移転しましたが、春季例大祭に引き続き10月10日(月)、令和4年度千葉県護国神社秋季例大祭が新境内(千葉市若葉区桜木)において斎行されました。

◆ 4年10月1日(土) 0930～1100 境内の清掃奉仕

10月10日に斎行される秋季例大祭の準備として、境内の清掃奉仕を実施しました。若梅山武東金支部長、河西監事役を含め、船橋(3名)、沼南(3名)、山武東金(6名)計12名の会員が参加しました。

また、千葉県郷友会から、鈴木会長以下7名が参加されました。

新境内地では初めての清掃奉仕となりましたが、除草作業、特攻勇士の像の手入れなどを実施しました。

休憩時間においては、自己紹介、会員相互の歓談により親睦が図られました。

また、竹中宮司から、今回も隊友会、郷友会の奉仕活動のお陰で10日の秋季例大祭の準備を計画的に進めることができる旨お礼の言葉を頂きました。

最後に、竹中宮司を囲んでの記念写真を撮りました。

◆ 4年10月10日(月)0830～1100 お供え物の準備及び車両統制

櫻井千葉稲毛支部長、金井市川支部長、日野八千代支部長、永井前市川支部長、青木副会長、小芝理事役及び三浦理事役の計7名の会員が参加しました。

参列者にお配りするお供え物の準備を実施し、その後神社専用駐車場及び桜木霊園臨時駐車場に分かれて、車両統制及び参列者の誘導を実施しました。

例大祭は、神社関係者、来賓招待者、各市町村遺族会会長等約100名の参列により、10時から11時分まで計画どおり実施されました。来賓招待者には、千葉市長、隊友会 神原会長、隊友会 河野顧問(下総水交会会長として参列)の他、陸自第1空挺団及び高射学校から副団長等の姿が見受けられました。

なお、式の終わりに、宮司から隊友会及び郷友会の協力支援に対するお礼の言葉が述べられておりました。

千葉県護国神社担当理事役 三浦 洋

